

うにあらば、却ての御慈悲たらんか、既に不孝の輩猶有之ば、可處罪科事と、一條にのせられ、孝經には五刑屬三千、罪莫大於不孝云々、是いましむべきの第一也、然れどもむかしより、親頑に後妻あるひは、嬖妾杯の讒によつて、不孝を唱へ、或は若氣の過ち、女色など、又は諸事などに逸して、惡事にはなく、過のつりなどする類少からず、是は罪輕し、隣里郷黨の顯暮をされるものに、正しく糺して、御沙汰あらんか、是等の一條遠き慮なくしては、後世の災成べし、且た、親子の間のあしきをば、不孝と成らば、却て人倫を破る事あるべし。

困慈

慈ハ又慈愛ト云ヒ、之ヲイツクシムト訓ズ、父母ノ其子ヲ鐘愛スルヲ謂フナリ、

名稱

〔類聚名義抄心〕慈材 玆 反 ヲツクシヒ

〔伊呂波字類抄〕嚴伊 辭 字 イツクシム 慈 悲 愍 嶮 仁 恩 惠 莊 孚 孛已上 ヲツクシム

〔書言字考節用集〕言八 慈イックシ 〔同言辭〕慈愛ジアイ

〔倭訓栞〕伊前編 三、いつくしむ 仁をよめり、痛く惜むの義成べし、人の全徳は仁愛の心にあり、万葉集に、愛をうつくしとよめるも音意通せり、

慈例

〔古事記〕上、此時伊邪那岐命大歡喜詔、吾者生生子而於生終、得三貴子、即其御頸珠之玉緒、母由良邇此四字以音、下效此、取由良邇志而賜、天照大御神而詔之、汝命者所知高天原矣、事依而賜也、故其御頸珠名謂御倉板舉之神訓板舉 云多那、次詔月讀命、汝命者所知夜之食國矣、事依也訓食 云須、次詔建速須佐之男命、汝命者所知海原矣、事依也、

〔古語拾遺〕於是素戔嗚神欲奉辭、日神天照大神 昇天之時、櫛明玉命奉迎、獻以瑞八坂瓊之曲玉、素戔嗚神

受之轉奉、日神仍共約誓、即感其玉生、天祖吾勝尊、是以天照大神育吾勝尊、特甚、鍾愛常懷、腋下稱曰

腋子ワキゴ、今俗號雜子、謂和可古、是其轉語也、